

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月1日

【評価実施概要】

事業所番号	1275000089		
法人名	株式会社エーアンドエヌ		
事業所名	グループホーム いきいきの家 くりもと		
所在地	千葉県香取市高萩765-1 (電話) 0478-70-5051		
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成20年11月27日	評価確定日	平成20年12月10日

【情報提供票より】(平成20年11月7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	15 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 16 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有() 円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	○有 300,000 円	有りの場合 償却の有無	○有 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり			円

(4) 利用者の概要(11月7日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	1 名	要介護2	6 名		
要介護3	4 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87.3 歳	最低	77 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	栗源病院、県立佐原病院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

のどかな自然に囲まれた環境の中「グループホームいきいきの家くりもと」がある。施設内は全面バリアフリーで、職員の目が届きやすい設計となっており、入居者の安全面に配慮している。また、リビングには、和室スペース・ソファ・テーブルがあり、入居者が思い思いの場所でくつろいでいる。入居者の自由な生活を重要視し、レクリエーション・体操の実施や趣味活動の支援、個別の外出等入居者の希望に応じたサービスを提供している。病院の協力のもと、機能訓練が実施され、入居者の身体能力の維持に努めている。ボランティアの慰問や地域行事への参加が行なわれ入居者の楽しみとなっている。職員は家庭的なケアの提供に努め、職員と入居者が時間を共有し、共に支えあう関係が築かれている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価にて指摘を受けた事項においては、地域密着型施設としての理念の追加、職員全員での自己評価票の作成、終末期における書類の整備等、適切に改善が図られている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価においては、職員全員が個別に作成を行い、管理者がまとめ、作成している。外部評価の意義を職員全員が理解し、サービスの質の向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	入居者・家族・市役所職員・民生委員・職員を構成員とし、3ヶ月に1回運営推進会議を開催している。会議では、施設の活動報告や意見交換が行なわれ、施設理解の促進に努めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の面会時や運営推進会議にて、直接意見や要望等の確認を行っている。意見や要望が挙がった場合には、職員会議にて周知・検討し改善を図っている。また、事故報告書・苦情報告書を作成し、再発防止にも努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入しており、清掃活動等の地域行事へ積極的に参加していると共に、散歩や外出時に挨拶を交わしたり、ご好意でおすそ分けを頂く等の関係作りがなされている。また、地域の老人会「ふれあいサロン」に参加し、地域の方々との交流が図られている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	自然の中で専門的な知識、技術、心を持って入居者の個性を尊重しながら家庭的なケアを提供する・地域の中で共に友達の輪を広げながら安心した生活を提供するを主眼とした事業所独自の理念を掲げている。理念においては、施設開所時に職員全員で話し合った上で作成している。また、前回の評価にて指摘を受け、新たに地域密着型施設としての理念を追加した。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内に理念を掲示している。家族や地域に対しては、入居時・運営推進会議等で説明していると共に、職員の募集広告等に理念を掲載し、理念を周知している。職員に対しては、朝礼や日々の業務にて確認を行い、理念を意識したサービスの提供に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、清掃活動等の地域行事へ積極的に参加していると共に、散歩や外出時に挨拶を交わしたり、ご好意でおすそ分けを頂く等の関係作りがなされている。また、地域の老人会「ふれあいサロン」に参加し、地域の方々との交流が図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価においては、結果を周知すると共に、職員会議にて改善点について検討し、適切な改善が図られている。自己評価においては、職員全員が個別に作成を行い、管理者がまとめ、作成している。外部評価の意義を職員全員が理解し、サービスの質の向上に努めている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者・家族・市役所職員・民生委員・職員を構成員とし、3ヶ月に1回運営推進会議を開催している。会議では、施設の活動報告や意見交換が行なわれ、施設理解の促進に努めている。		

【千葉県】グループホーム いきいきの家 くりもと

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所職員が参加する、地域の介護保険事業所会議や地域のグループホーム連絡会に参加し、市との情報交換や意見交換を行っている。また、日々の業務にて、相談や報告にて市役所との連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の面会時に入居者の生活状況を報告すると共に、毎月手紙にて生活状況・金銭管理等の報告を行っている。報告の時に日々の記録や季刊誌等を用いる事で、より詳細に報告を行なっている。また、生活状況に変化があった場合には、随時電話連絡を行っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時や運営推進会議にて、直接意見や要望等の確認を行っている。意見や要望が挙がった場合には、職員会議にて周知・検討し改善を図っている。また、事故報告書・苦情報告書を作成し、再発防止にも努めている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入職があった場合は、家族の面会時に紹介・挨拶をし、報告していると共に、職員の配置を手厚くし、慣れた職員と一緒に業務を行いながら入居者とコミュニケーションを取り、早く馴染みの関係を築けるよう配慮している。今後、異動があった場合は、季刊誌等を活用し、家族へ報告する予定である。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修においては、必要に応じて参加をしている。研修参加後は、報告会や資料の閲覧を通じて内容を周知している。内部研修においては、定期的に関催し、職員の質の向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の介護保険事業所が集まる栗源ケア会議や地域のグループホーム連絡会に参加している。会議では、情報・意見交換や勉強会が行なわれ、困難事例の解決や同業者との交流の機会となっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>随時見学を実施していると共に、希望に応じて体験入居・短期入所が可能となっており、施設の雰囲気や方針を理解してもらった上での入居となっている。入居後は、馴染みの家具の持込や生活暦に合わせたサービスの提供にて、不安の軽減に努めている。また、職員が手厚くコミュニケーションを取り、他の入居者と馴染みの関係が築けるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の希望や能力に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。職員は入居者から人生経験・生活の知恵・礼儀の大切さを学ぶと共に、労いの言葉に癒しを得ている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に本人・家族から意向や生活暦を聴取し、記録している。入居後は、日々の観察やコミュニケーションの中で本人の意向を確認している。希望が言い出せない入居者に対しては、家族との相談や声掛けの工夫にて意向の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画においては、本人・家族の要望を踏まえた上で計画作成担当者・居室担当職員を中心に話し合いを行ない、介護計画の作成を行なっている。計画の作成後は、家族に説明の上、了承を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回介護計画の見直しを行っている。また、生活状況に変化のあった場合や必要であると判断された場合は、その都度見直しを行っている。見直しの際は、本人・家族の要望を踏まえた上で計画作成担当者・居室担当職員を中心に話し合いを行ない、介護計画の作成を行なっている。計画の作成後は、家族に説明の上、了承を得ている。</p>		<p>定期的に介護計画の達成状況の確認や評価を行い、記録をする事で、職員全員で入居者の情報を共有をし、入居者の現状により即した介護計画の見直しの実施を望みます。</p>

【千葉県】グループホーム いきいきの家 くりもと

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の希望に応じて馴染みの場所や店への外出・買い物支援している。近隣の理容店のご好意により、待ち時間なく散髪をしてもらえる体制が築かれている。入居者の急変時や終末期の際は、家族が宿泊する事が可能となっている。その他、ボランティアの慰問等にて、入居者の楽しみを支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院以外にも、希望のかかりつけ医への受診が可能となっている。通院においては、希望により職員が支援している。入居者が入院した際は、職員がお見舞いに行き、着替えの支援や早期退院に向け、医師と情報交換を行なっている。週3回訪問看護が実施され、適切な健康管理が行なわれている。今後、内科医師の往診を実施できるよう、体制作りを進めている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期においての施設の方針や対応方法を作成し、家族の面会時や運営推進会議にて説明を行い、同意を得ている。重度化した際は、同意書を目安に医師・家族・訪問看護師と相談しながら施設で出来る限りの支援を行なっている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人書類においては、事務所にて保管し、個人情報の保護を図っている。各居室に鍵が設置されていると共に、経営法人が主催の接遇研修が定期的に行なわれ、声掛け等の方法が指導されており、入居者のプライバシーを損ねないよう努めている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課に取り決めはなく、入居者の自由な生活を支援している。入居者の希望に応じたレクリエーションや外出を実施し、その人らしい生活の支援に努めている。希望が言い出せない入居者に対しては、声掛けの工夫により希望を把握している。		

〔千葉県〕グループホーム いきいきの家 くりもと

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
	22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>希望や能力に応じて食事の準備や片付けを共同で行っている。配食サービスを利用し、栄養バランスに富んだ献立の提供をしている。週に1回フリーメニューの日を設け、入居者の希望に応じた食事を支援している。また、家庭菜園で収穫した食材の使用や外食会を通じて、食に関する楽しみを支援している。</p>		
	23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は希望に応じて回数や時間等柔軟に対応していると共に、体調に応じて足浴や清拭を実施し清潔保持に努めている。リフト浴槽の活用により、入居者の能力に応じた入浴も支援している。脱衣所から直接トイレに行けるよう設計され入居者のプライバシーに配慮している。また、浴室にエアコンが設置され、快適に入浴できるようになっている。入浴拒否においては、声掛けやタイミングを工夫し、対応している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
	24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者の能力や希望に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。入居者は、清掃活動等の地域貢献活動に参加する事により、地域の中で役割を持って生活している。体操やレクリエーション等に入居者は自由に参加していると共に、パズルや読書等の趣味活動の支援も行っている。また、月1回以上行事が企画・実施され入居者の楽しみを支援している。</p>		
	25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>定期的な外出会等の行事を実施していると共に、入居者の希望に応じて、個別に散歩や買い物等柔軟な外出支援を行っている。また、ウッドデッキにて日なたぼっこやお茶を飲む等、戸外での楽しみが提供されている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援						
	26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は玄関の施錠は行っておらず、入居者の自由な生活を支援している。入居者が外に出た場合は、玄関に設置したチャイムにて把握し、見守りや声掛けで柔軟に対応している。居室には、入居者のプライバシーに配慮して鍵が設置されているが、現在は施錠する入居者はいない。</p>		
	27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年に2回、消防署や防犯協会の協力のもと消防避難訓練を行っていると共に、災害時・緊急時・行方不明発生時等の対応マニュアルを整備し、対策を講じている。また、日頃の声掛けや交流により地域住民との協力体制も築かれている。</p>		

【千葉県】グループホーム いきいきの家 くりもと

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の嗜好や能力に合わせ適切な食事提供がなされていると共に、水分や食事の摂取量を記録している。摂取量が不足している場合は、栄養補助食品等で必要な栄養の確保に努めている。また、状況に応じて医師や訪問看護師に相談し、適切な健康管理を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全面バリアフリーとなっていると共に、職員の目が行き届く設計となっており、入居者の安全面に配慮している。リビングには和室スペース・ソファ・テーブルがあり、入居者は自由にくつろぐ事が可能となっている。定期的に徹底清掃を実施し、施設内の衛生管理に努めている。また、行事写真や入居者の作品を共有空間に掲示し、職員と入居者が楽しみを共有している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者が居心地良く生活できるよう、希望に応じて馴染みの物を自由に持込む事が可能となっていると共に、希望により、畳を敷く事も可能となっている。全居室にエアコンが設置され、必要に応じて職員が操作し、適切な空調管理がなされている。		